



特集本コーナー

今回はクリスマス特集です。
クリスマスにちなんだ本を展示して
あるので是非読んでみてね！
来館をお待ちしてマース。

クリスマス/クラウス・クラハト
請求記号386ⅡK(高鍋図書館)

「クリスマスから連想するモノってなんでしょう？サンタクロース？ツリー？ケーキ？毎年12月になると日本ではどこもかしこも「クリスマス」の雰囲気につつまれます。これだけ華やかな日本の「クリスマス」ですが、ご存じのように日本伝来のモノではありません。では「クリスマス」は日本にどのようにして伝わり、定着し、変化してきたのか。日本の「クリスマス」現象を民俗学からひもとく1冊です。

ターシャ・テューダーのクリスマス
/ハリー・デイヴィス
請求記号386.53ⅡD(高鍋図書館)

「クリスマスって魔法の季節よ。」
そう語るのには絵本作家で、ナチュラルガーデンで有名なターシャ・テューダー。そのターシャのクリスマス本です。動物と自然に囲まれてゆったりと暮らすターシャのクリスマスを、彼女の言葉と絵とたくさんの写真で綴ります。1枚1枚、ページをめくっていく毎に彼女の「魔法」が広がります。素敵なクリスマス気分が味わえる1冊です。

ウインターガーデン / 奥 峰子
請求記号627.8ⅡO(高鍋図書館)

冬の植物も他の季節にはない美しい彩りがあります。花だけではなく、葉やトゲや実、さらには枝や幹も思わぬ美しさを見せてくれるのです。この本ではイギリスで研修してきた著者が、向こうで感じた冬の美を様々な形で紹介しています。クリスマスシーズンならではの手作りのリースやインドアプランツなど、皆さんも楽しんでみませんか？

まてみて図書館 まてみて図書館

今年もお世話になりました号

クリスマス・キャロル
/チャールズ・ディケンズ
請求記号933ⅡD(宮崎図書館)

ディケンズの描くクリスマス物語の名作！
あなたも小さいときに読んだことがあるはず。
ケチで冷酷な高利貸のスクルージのもとに
3人の幽霊がやってきて現在・過去・未来の
姿を次々に映し出す…。
この物語を原作とした映画 3人のゴースト 也
オススメです！ぜひ鑑賞してみてください。

赤い手袋の奇跡
/カレン・キングズベリー
請求記号933ⅡK(宮崎図書館)

「クリスマスの奇跡は、
それを信じる人に起きる」
白血病の少女の願いは、家族を失い生きる意味を
失った男にもう一度人を信じる心を取り戻してもらうこと
でした。少女と男との温かい心の交流を描いたファン
タジー小説。
泣いちゃうと思うので、一人でこっそり読んでね。

エーリカ：あるいは生きることの隠れた意味
/エルケ・ハイデンライヒ
請求記号943ⅡH(宮崎図書館)

「クリスマスの夜、ピンクのブタが奇跡を起こす」
フランクへ贈るマスタードを買いに行ったベティはピンクの大きなブタのぬいぐるみ「エーリカ」に出会う。ベティは「エーリカ」とともにフランクに会いに行く…。生きるものの意味-たどえそれが隠れた意味であって-をもう一度教えてくれる、美しい物語。
ミヤエル・ゾーヴァの描くかわらかそうな「エーリカ」が可愛い！欲しいなー。

てげてげくん (その6)



引用文献・参考文献の見方

論文の最後に載っている参考文献の一例です。

参考文献

- 1) 加安弘(2002)「宮崎の樹木」『宮崎研究』3, p.55-58.
↑著者名 ↑出版年 ↑論文名 ↑雑誌名 ↑巻号 ↑ページ
- 2) Jarome, W. (1994) "Tropical trees", *Eco and Forest*, 29(1), p. 335-349
↑著者名 ↑出版年 ↑論文名 ↑雑誌名 ↑巻号 ↑ページ
- 3) 堀美子(1992)『宮崎の街路樹』(宮崎の自然第2巻)講談社
↑著者名 ↑出版年 ↑書名 ↑シリーズ ↑出版社



引用文献を探すときに必要なのは論題だけではありません。
特に大切なのは雑誌名・巻号・ページ数です。
これがわかっているならば、論文を探すのはぐんと簡単になります。

論文などを探す時に引用文献って利用するよね？今回はその引用文献・参考文献の見方を教えちゃいます。知っておくと便利です。

論文に引用文献・参考文献を書くのは、著作権をハッキリさせるためです。
ですから、その論文を読んだ人が引用文献や参考文献であげた論文を探して読むことが出来るようなものでなければなりません。書き方は規格があるのですが、書く人によって多少の誤差があるので注意して下さい。
この記載の法則を知っていれば、自分で論文を書いた時も参考文献をきちんと記載することが出来るはずですよ！



CHECK! 引用文献…本文中に引用している文献
参考文献…引用はしていないが、論文を書くときに参考にした文献

私のおすすめ

遺伝子オンで生きる / 村上和雄著 (宮崎図書館所蔵)
がんばらない / 鎌田寛著 (宮崎図書館所蔵)

管理栄養学科助教授
小川恒夫

「遺伝子オンで生きる」では心の持ち方で人は変わるということを、遺伝子工学の立場から科学的に証明しています。例えば漫才を聞いて笑う事により、免疫を高める10個の遺伝子がオンになり、発ガン作用のある5つの遺伝子がオフになり、血糖値が40も下がったそうです。笑ったり感動している人の遺伝子は、オンの部分が増え、生きる力がわいてくるそうです。よい遺伝子をオンにして新たな可能性を目覚めさせる方法を探してみたいかでしょうか。

「がんばって、がんばって治す」という現在の医療と「がんばらずに、あるがままに生きることを支える」という医療。後者の医療があってもいいのではないかと。病気が臓器だけを診るのではなく、患者を全体として診ることが大切なのではないか。心の通った医療とはどのようなものか。地域医療に長年携わってこられた先生の心温まるお話です。

マリモ&メダカ観察記

前回よりメダカが増えました。色々な種類や大きさのメダカを買い、水槽もにぎやかになりました。寒くともメダカはまだ元気です。マリモも変わらず元気です。友達のカエル(陶器)をいれてあげました。



司書のつぶやき

もう12月ですね。皆さんはクリスマスのご予定は立てていますか？図書館では、特集本コーナーや新着図書棚など、少しずつクリスマスバージョンへ変えていく予定です。是非、冬期休暇に入る前に図書館へ足を運んで、クリスマスや年末年始に読む本を見つけてみて下さい☆